

移住風景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

キムチづくり

毎年楽しみにしている公民館のキムチ作り。今年も生産者の方に白菜をお願いし、三日前から塩漬けなどの下準備を始めます。大量の白菜を漬けるということに慣れておらず、昨年は塩漬けのためだけに、六十ℓの超巨大な樽を買ってしまいました。塩漬け後はかさが増ったのでさらに三十ℓ樽を買い足しました。今思えば三十ℓ樽を2つ買うとか、もっとやり方があったと思います。初心者とはそういうものです。

大変邪魔でした。さらに樽の中の大量の塩水を一体どうやって捨てるべきなのか、また悩むのでした。この移住風景が配布される頃にはいい塩梅に漬かっていればよいのですが…。何はともあれ、二〇二一年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊

松下 聡子



樽の中の白菜

協力隊担当の現場から

八頭町発見伝②

白兔伝説と町内の神社

① 高峰神社

高峰神社は羽柴秀吉の市場城攻めの際に社殿が喪失しましたが、享保十二年（一七二七年）に再興されました。境内には峰寺薬師もあり、神仏混合の形態が見られます。本殿正面の扉の両側には兎の彫刻が施されており、新年の初詣や白兔伝説めぐりとしてぜひお参りください。

② 金毘羅宮

水口集落内を通過して半柵城跡方面の谷へ進むと金毘羅宮があります。慶応二年（一八六六年）に金毘羅宮の寺堂が大火で焼失

してしまいましたが、弁才天像一躯が残ったと言われています。本殿上部には兎の彫刻が施されており、町内の白兔伝説のつながりを感じることが出来ます。参道は道幅が狭いので、お参りの際にはご注意ください。

（商工観光室 田中）



金毘羅宮と本殿上部のうさぎ



高峰神社と扉のうさぎ

○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。